

問1 次の表はデフレ下のある国の経済を表している。空欄はいくらになるか？

	2000	2001	2002	2003
名目 GDP	400	500	540	560
デフレーター	100			
実質 GDP	400	500	600	700

問2 所得を I 、商品 1 の消費量を y_a 、価格を p_a 、商品 2 の消費量を y_b 、価格を p_b とすると次の予算制約式ができる。 y_a を横軸、 y_b を縦軸にすると、どのような直線がかけられるか。

$$I = y_a p_a + y_b p_b$$

問3

所得	100	200	300	400	500	600
消費	160	220	250	340	400	460

(1) 消費が所得の 1 次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得を Y 、消費を C として式で表わせ。

(2) 所得が 500 のとき、平均消費性向、限界消費性向はそれぞれいくらかになるか。

問4 名目賃金を W 、価格を P 、生産量を Y 、雇用量を N とする。「実質賃金は雇用の限界生産力に等しい」という内容を式で表わせ。

問5 1 年後の 105 円の現在割引価値が 100 円だった。利率はいくらか。

問6 需要面からみた GDP (Y_d)、供給面からみた GDP (Y_s)、所得面からみた GDP (Y_I) が次の関係にあるとする。

$$Y_d = a + bY_I \quad (a > 0, 0 < b < 1)$$

$$Y_s = Y_I$$

これを横軸を Y_I 、縦軸を Y_d, Y_s としてグラフに描け。

問7 需要面からみた GDP (Y_d)、供給面からみた GDP (Y_s)、所得面からみた GDP (Y_I)、消費 (C)、投資 (I) が次の関係にあるとする。

$$Y_d = C + I$$

$$Y_s = Y_I$$

消費関数は基礎的消費が 200 兆円、限界消費性向が 0.5、投資は 100 兆円で一定の時、3 つの GDP が一致する水準はいくらになるか。

問8 「限界効用が逓減する」とはどのようなことを指すか、チョコレートを例にとって説明せよ。

問9 債券価格と利率が逆に動くのはなぜか。説明せよ。